

平成27年度 産業医研修予定表

熊本産業保健総合支援センター

	開催日時	会場	テーマ	手法	講師	申請単位
第1回	5月 7日 (木) 14時00分～16時00分	熊本産業保健総合支援 センター共用会議室 3F	労働者の健診データの解析法 —疫学的考え方—	講義討議 質疑応答	熊本大学大学院 生命科学研究部 教授 加藤貴彦	専門 2単位
健康診断の結果といった、人の集団データの取り扱いに関する解析方法について研修する。						
第2回	6月 15日 (月) 18時30分～20時30分	熊本産業保健総合支援 センター共用会議室 3F	作業環境測定と快適な職場環境の管 理（労働安全衛生法第57条の2第1項 リスクアセスメントについて）	事例検討 討議	第1種作業環境測定士・第1種衛生管理者・ 第1種放射線管理 環境計量士 岩男周二	更新 2単位
定員に達しましたので受付を終了しました						
<ul style="list-style-type: none"> 作業環境測定について 化学物質のリスクアセスメント「コントロール・バンディング」について 						
第3回	8月 6日 (木) 14時00分～16時00分	熊本産業保健総合支援 センター共用会議室 3F	騒音測定実習	講義討議 実習	熊本大学大学院 生命科学研究部 教授 加藤貴彦	実地 2単位
騒音性難聴は長期的には減少傾向にあるが、現在でも多くの発生をみている。本実習では、騒音に関する一般的な知識の学習とともに、騒音家の操作法を習得する。						
第4回	【8/25と同じ内容です】 8月 18日 (火) 14時00分～16時00分	熊本産業保健総合支援 センター共用会議室 3F	日本産業衛生学会職場改善セ ミナー教材を活用した新しい 職場巡視トレーニングの実践	グループ 質疑応答	NPO東アジアHP ネット理事長 熊本大学名誉教授 株式会社健康支援センター顧問 上田厚	実地 2単位
熊本産保センターの研究事業（平成21年度）として開発された職場巡視トレーニングプログラムにそって、日本産業衛生学会が作成した職場改善セミナー教材を用いて、職場巡視の効果的な実践方法について学習する。						
第5回	【8/18と同じ内容です】 8月 25日 (火) 18時30分～20時30分	山鹿市生涯学習センター 「ひだまり」	日本産業衛生学会職場改善セ ミナー教材を活用した新しい 職場巡視トレーニングの実践	グループ 討議・ 質疑応答	NPO東アジアHP ネット理事長 熊本大学名誉教授 株式会社健康支援センター顧問 上田厚	実地 2単位
熊本産保センターの研究事業（平成21年度）として開発された職場巡視トレーニングプログラムにそって、日本産業衛生学会が作成した職場改善セミナー教材を用いて、職場巡視の効果的な実践方法について学習する。						

第6回	9月 4日 (金) 18時30分～20時30分	熊本産業保健総合支援センター共用会議室 3F	職場のメンタルヘルス対策「復職支援の ～復職可能の判断のつけ方と復帰後 の継続フォロー面談～」	講義 質疑応答	カウンセリングオフィスKMJメンタルアシスト 代表 岡本心理士 松下 弘子	専門 2単位
休職した労働者が復職可能となる条件は、職種や職務内容によって異なる。労働に耐え得る体力維持に必要な治療とリハビリ、作業能力を見極めるための試し出勤と評価などについて検討する。また、復帰後のフォロー面談のポイントを確認する。						
第7回	【10/13と同じ内容です】 10月 6日 (火) 14時00分～16時00分	熊本産業保健総合支援センター共用会議室 3F	新しい参加型産業保健活動の形 ーILO作業改善プログラム(WI SEおよびWIND)ーを学ぼう	グループ 討議・ 質疑応答	NPO東アジアHPネット理事長 熊本大学名誉教授(株)くまもと健康支援セン ター顧問 上田 厚	専門 2単位
労働安全衛生マネジメントシステム(ILO)を理解し、その実践モデルとして、ILOが開発した参加型産業保健活動プログラム、WISE(Work Improvement in Small Enterprises)およびWIND(Work Improvement in Neighborhood Development)の概要と意義、実践事例について学ぶ。						
第8回	【10/6と同じ内容です】 10月 13日 (火) 18時00分～20時00分	八代ハーモニーホール 中会議室	新しい参加型産業保健活動の形 ーILO作業改善プログラム(WI SEおよびWIND)ーを学ぼう	グループ 討議・ 質疑応答	NPO東アジアHPネット理事長 熊本大学名誉教授(株)くまもと健康支援セン ター顧問 上田 厚	専門 2単位
労働安全衛生マネジメントシステム(ILO)を理解し、その実践モデルとして、ILOが開発した参加型産業保健活動プログラム、WISE(Work Improvement in Small Enterprises)およびWIND(Work Improvement in Neighborhood Development)の概要と意義、実践事例について学ぶ。						
第9回	11月 28日 (土) 14時00分～16時00分	熊本産業保健総合支援センター共用会議室 3F	健康予防のために①「リラクゼーション法を活用する」	講義 実習	ヒューマンケア熊本代表 臨床心理士/キャリアカウンセラー 森川 泰寛	専門 2単位
ストレス対処と能力発揮に役立つ各種リラクゼーション法の簡易な実践法を学ぶ。						
第10回	12月 4日 (金) 18時30分～20時30分	熊本産業保健総合支援センター共用会議室 3F	産業現場に必要な過重労働対策、法規 を事例から就業上の措置など	講義 質疑応答	日本赤十字社 日赤健康管理センター 健康推進部長 野波 善郎	更新 2単位
過重労働対策の基礎知識。実態に基づく情報収集や面談・健康状態把握、意見提示や報告の在り方まで						

第11回	1月 27日 (木) 18時30分～20時30分	熊本産業保健総合支援センター 共用会議室 3F	産業医、薬剤師、労働衛生コンサルタント 古海勝彦	更新 2単位
	定員に達しましたので受付を終了しました 安衛法一部改正とメンタルヘルス対策について			
第12回	2月 23日 (火) 18時30分～20時30分	熊本産業保健総合支援センター 共用会議室 3F	職域における呼吸機能検査の活用～COPDの啓発～ 熊本大学大学院 生命科学研究部 教授 大森久光	専門 2単位
	定員に達しましたので受付を終了しました わが国の労働安全衛生分野における重点課題の一つとして、作業関連疾患の予防があげられる。「美肺延命」のためには、呼吸器疾患特に慢性閉塞性肺疾患（COPD）の予防は重要である。本研修では、COPDの啓発、予防のためのツールとして、呼吸機能検査の活用方法を紹介します。			
第13回	10月 15日 (木) 13時30分～16時30分	安全衛生管理のための安全衛生パトロールの進め方～実地研修～	衛生工学衛生管理者 一級ボイラー技士 石原徳一 保健師 産業カウンセラー 産業看護師 島村佳子	実地 3単位
	定員に達しましたので受付を終了しました 効果的な「安全衛生パトロールの仕方と実施後の事後措置」について、実働工場(九州柳河精機)に出向き実地で研修する。			

平成27年度 産業医研修予定表に記載している研修は、全て認定産業医の更新のための「生涯研修」となります。

産業医研修会への遅刻や早退につきましては、単位シールをお渡しすることができません。

予めご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

このまま送信して下さい。FAX:096-359-6506

熊本産業保健総合支援センター 行

平成27年度産業医研修参加申込書

ふりがな		参加研修会 番号&日付	第 回 月 日	第 回 月 日
参加者氏名			第 回 月 日	第 回 月 日
病院名(診療科)	病院・医院 (科)			
病院等所在地	〒			
病院等電話		FAX番号		
連絡担当者名 (参加者と別の場合)				

※お問い合わせは、096-353-5480(熊本産業保健総合支援センター)まで

産業医研修会への遅刻及び早退につきましては、単位シールをお渡しすることができません。

予めご了承くださいませよう、お願い申し上げます。